

令和2年度第1回

睦沢町総合教育会議議事録



睦 沢 町

令和2年度第1回睦沢町総合教育会議議事録

1. 日 時 令和2年7月30日(木)
開会 13時28分 閉会 14時44分
2. 会 場 睦沢町役場 3階 302～304会議室
3. 出席者 睦沢町長 田 中 憲 一
睦沢町教育委員会 教育長 今 井 富 雄
教育委員 佐 藤 秀 文
教育委員 藤 原 雪 枝
教育委員 飯 塚 史美代
(事務局)
総務課長 中 村 幸 夫
総務課主査(総務班長) 池 澤 竜 二
教育課長(歴史民俗資料館長) 中 村 年 孝
教育課主幹(指導主事) 岡 本 哲 夫
教育課副課長(中央公民館長) 御園生 憲 利
教育課主査(学校教育班長) 芝 崎 洋 一
教育課主査(生涯学習班長) 若 菜 亜衣子
4. 議決事項 (1) 睦沢町教育振興基本計画の進行管理について
(2) その他
5. 傍聴人 1名

【 13時28分 開会 】

岡本主幹 久我委員ですが、所用のため欠席のご報告をいただいておりますのでお知らせいたします。

定刻前ですが皆さんお集まりですので、始めさせていただきます。ただ今より、令和2年度第1回総合教育会議を開会いたします。

初めに、田中町長よりご挨拶をいただきたいと思います。

田中町長 皆さん、こんにちは。令和2年度第1回総合教育会議の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げさせていただきます。

私に陸沢町長として町政の舵取りを任せていただくことになり、昨日、町長の任期がスタートしたところです。

教育長、教育委員の皆様におかれましては、日頃より、町教育行政の推進にご尽力をいただき誠にありがとうございます。就任して最初の会議がこの総合教育会議となります。大変、身が引き締まる思いでございます。

私にとって教育行政は大切な行政部門であり、議会議員の任期中に一般質問では学校運営や学習環境について、予算では中学校施設の環境問題について、私の考えを述べさせていただいたところです。学校教育については学校運営協議会、コミュニティ・スクール推進委員の会長として、学校が抱える課題や問題、また一貫教育について討議し、スポーツ分野ではふれあいスポーツクラブの理事としても努めてきたところです。

これまでも多くの場面で教育活動に携わってきた中で、私なりに教育行政のあり方について十分に考える機会があり、選挙期間中の遊説でも本町の教育について、こども園、小学校、中学校が一つずつなので、一貫した教育でソフトの部分を強化して地域ナンバー1の教育にと訴えさせていただき、学校施設では耐震化、老朽化問題など私の考えも併せてお話をさせていただいたところです。今後はその実現に向け、教育委員会と共にこの総合教育会議によって未来を見据えた教育の充実を推進するため、十分に議論をさせていただきたいと考えています。本日は陸沢町教育振興基本計画の進行管理が議題となっておりますが、委員の皆様からも多くのご意見をいただき、私にとっても学校の現状を知る機会とさせていただきたいと思っておりますので、本日は何分よろしく申し上げます。

岡本主幹 ありがとうございました。

次に、今井教育長よりご挨拶をいただきたいと思います。

今井教育長 皆さん、こんにちは。一言ご挨拶を申し上げます。この総合教育会議は、町長と教育委員会が十分な意思の疎通を図って、睦沢教育の課題や教育のあるべき姿を共有して、より一層、民意を反映した教育行政の推進が図られるために、位置付けられた会議でございます。

これまでも、教育大綱や睦沢町教育振興基本計画に示された教育環境の整備、また睦沢町が進める園小中一貫教育の推進、生涯学習や芸術文化の振興等々を図っていく上で、共有し、一致して執行していけるように町長が招集されるこの会議に、私共、教育委員会側も意義ある会議として、この会議に参加してまいりました。

田中町長から、民意を反映した町長としての立場からのお話しもいただけるものと思っておりますが、同時に、学校運営協議会の会長を始め、PTA 会長など教育関係団体の役員としてのご経験、更には社会教育の面においても、経験豊かですので、総合教育会議という開かれた会議の中で、具体的な内容にも触れられたお考えを伺えることに大変期待をしているところです。

さて、本日の議題は、昨年度の教育振興基本計画の進行管理についてではありますが、5年前に示された教育大綱に則った、第1期睦沢町教育振興基本計画に基づく睦沢教育の5年間の取り組みの総括と言える会議になることを願っています。協議が進められる中で、総括も共有できれば10年後を見据えた、向こう5年間の第2期教育振興基本計画にも、できるところは反映をさせていけるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

岡本主幹 ありがとうございました。

本日の議事に入ります。議事進行につきましては、睦沢町総合教育会議設置要綱により、田中町長をお願いいたします。

田中町長 暫くの間、議長を務めさせていただきます。

議題（1）睦沢町教育振興基本計画の進行管理について、事務局の説明を求めます。

中村課長 皆様のお手元に配付の、点検・評価報告書により説明させていただきます。教育委員会では、睦沢町教育振興基本計画の進行管理として、毎年度、重点

施策毎の指標を基に、その実績や達成状況を分析し、課題を整理しながら評価を行い、目標の達成に向けて活動をしております。

この点検・評価につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、報告書は議会に提出し、議事録についてはホームページで公開しております。教育委員の皆様には既に配付をさせていただき、評価結果について検証をいただいたところですが、再度資料として配付させていただいております。総合教育会議の趣旨は、町長と教育委員会が円滑に意思の疎通を図り、効果的な教育行政の推進に資するためものです。本来であれば、5つからなる基本目標の項目ごとに検討すべきところですが、時間の限りもありますので、その概要説明と、令和元年度の評価が平成27年度から5年間の第1期陸沢町教育振興基本計画の最終年度となりましたので、この第1期の成果を交えながらの説明をさせていただきます。

それでは、1ページ目からご覧いただきたいと思います。ここでは(1)評価の趣旨、(2)評価する重点施策について、(3)評価の方法です。2ページから5ページが教育委員会の活動実績です。同じく5ページの後段で総合評価として、まとめさせていただきました。ページが飛びますが、11ページから15ページまでが、確かな学力と自立する力の育成から生涯活動の支援と芸術・文化、スポーツの推進まで5つの基本目標の評価を求めるための21の施策毎の実績値です。この21の施策の評価により教育委員と外部評価委員2名に4段階で評価をしていただいたものが6ページから10ページに記載させていただいております。

ここからは、平成27年度から令和元年度までの5か年間の第1期陸沢町教育振興基本計画の評価として実績や推移を含めてご説明をさせていただきます。

11ページをご覧ください。基本目標1 確かな学力と自立する力の育成ですが、小学校では2年前の学校再編以降、学力の向上が図られつつあり、2019年の全国学力学習状況調査においては、国語、算数共に全国平均以上の結果を示すことができました。中学校では県平均までの結果が示せませんでした。また重点施策1の確かな学力の育成の、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合では、この5年間で向上が見られました。2の伝統と文化

を尊重し、グローバル化に対応する教育の推進では、地域の歴史や自然について関心があると回答した児童生徒の割合が、特に中学3年生で大きな向上が見られ、全国平均と比較しても小中学校ともに上回っています。

一方で、重点施策1の中の「読む・書く」「計算」における基礎学力の定着度についてのところを見ていただきたいと思います。年度ごとの同一学年の比較では多少の増減はありますが、小学6年生と中学3年生は伸び悩みが見受けられました。小学3年生では、この5年間でやや低下が見えてきましたので、今後の検討課題であると認識しております。教育委員会としても心配があった小学校の学校再編による学校生活に関するアンケートでは児童と保護者から高い評価をいただくことができましたが、今後もよりよい学校運営を推進してまいります。

次に12ページ、基本目標2郷土を愛し、豊かな心と健やかな体の育成では、児童生徒の豊かな心を育むために発達に応じた様々な体験活動を実施するとともに、学校教育活動全体を通して道徳教育と人権教育を進めてきました。重点施策6の豊かな心を育む教育では、これは基本的な生活習慣や、家庭や地域との関わり、将来への夢などの質問ですが、過去の実績と比較しても向上が見られました。重点施策7のいじめ問題については、年度内に解消された割合は、平成27年度以降100%となっています。また令和元年度に陸沢町いじめ防止基本方針を更新し、いじめや、いじめと思われる事案の早期把握に努め、未然防止への取り組み、校内における情報共有の徹底など、いじめの概念の変わりをこれまで以上に評価をしております。重点施策10の健康の保持・増進の朝食を毎朝食べていると答えた児童生徒の割合ですが、小学校で92%、中学校では93%と過去5年間と比較しても低い数値でした。朝食は家庭のことですが、正しい生活のリズムをつくるためにも、100%になるよう働きが必要だと考えております。また重点施策11の体力の向上と学校体育活動の推進では、小学生の点数に伸び悩みが見られます。全国、千葉県でも身体活動は減少傾向にあります。体育の授業で実技に入る前にはトレーニング要素を加えた活動も入れていることを体育科の先生から話を聞いております。今後はこの数値が向上されるように推進をしていきたいと考えております。また生涯学習事業でもスポーツ教室の開催を充実させ、

運動習慣を身に付ける機会の提供に努めたいと考えております。

次に13ページ、基本目標3質の高い学校教育を推進するための環境の充実ですが、質の高い学校教育を推進するために授業の改善として相互の授業参観や管理職等による助言や指導などの校内研修の充実を図ってきました。重点施策12の教職員の資質能力の向上では、本町の指導主事が小中学校の若手教員が行う授業を参観して授業後に指導する回数を増加させ、教職員一人ひとりの授業改善へ取り組む意欲の向上が感じられています。重点施策14の子供たちの安心・安全の確保では、学校が実施する安全教育に関して教職員と保護者が評価する割合で近年、低下が見られます。令和元年度では自然災害が多かったことの影響があらうかと思いますが、子どもたちの安全対策については昨年度の経験を踏まえ、風水害発生時の対応として、下校する場合、下校させない場合、また停電等で情報の伝達ができない場合の対応について小中学校へ示したところです。また情報伝達には各区の区民センター等の施設を利用させていただきたいことから、既に通知にて依頼をさせていただきましたが、来月に区長会が予定されていますので、その場で改めて説明をさせていただきます。次の重点施策15のICTを活用した授業の実施については小学校ではあまり変化がありませんが、中学校では毎年向上しております。本町でもGIGAスクール構想による端末を児童生徒一人一台の整備を進める中で、ICTの活用による授業が活発に行われるようにするための支援も進めていきたいと考えております、学校施設の修繕も町と協議をしながら進めていきたいと考えております。

次に14ページ、基本目標4家庭・地域の教育力の向上ですが、家庭教育については家庭はそれぞれに違いがあり、子育ての環境に不安を抱く親の増加が懸念され、この度の長期休業でも虐待やネグレクトの発生が危惧されたところです。重点施策16の家庭教育支援体制の充実では、家の人と学校での出来事について話をするかとの質問に対し、していると回答した児童生徒の割合が、平成29年度以降は小中学校ともに向上が見られ、重点施策17の地域の教育力の向上での地域の行事に参加していますかとの質問でも、参加していると回答した児童生徒の割合が小中学校ともに向上しています。家庭教育支援体制の充実では小学4年生、5年生、6年生に毎週土曜日のアフ

タースクール、県の事業を活用して中学生にも学習支援教室を実施し、コミュニティ・スクールとして学校支援や、学習支援ボランティアの活用を実施しています。先程の重点施策14にも関わることですが、家庭教育の支援、また安全の確保、学校運営では家庭へも学校へも必要な支援、協力体制の整備は特に重要課題として捉えています。

次に15ページ、基本目標5生涯学習活動の支援と芸術・文化、スポーツの推進ですが、生涯学習の推進体制の強化を図るため、新たな学びをつくることや、町民のニーズに合った学習環境の提供などを行ってきました。公民館内では季節に応じた装飾、図書室においては蔵書の充実等、利用しやすくなるように工夫をして利便性の向上に努めました。重点施策19の生涯学習の推進体制の強化と20の芸術文化の振興と伝統文化の継承として、中央公民館と歴史民俗資料館の利用者数ですが、年度によって多少の開きはありますが、町内外問わず多くの方にご利用をいただいているところです。なお、令和元年度の実績については、年度末に新型コロナウイルスの影響により、休館とさせていただいたため、やや低い利用者数となっています。今後も新たな企画や創意工夫等、内容の充実に取り組み、より多くの方にご利用いただける施設の運営を図ってまいります。文化財の周知や調査、登録も進めてまいります。生涯スポーツの分野では、町内のスポーツ関係団体による本町のスポーツ振興の充実を図るための会議を実施しております。昨年度は令和2年度からの教育振興基本計画でもスポーツ活動のあり方、考え方について協議し、振興計画に盛り込んだところです。今後はこの5年間の実績により継続して実施する活動や、改善していく活動、また令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策が先となってしまいました。園小中一貫教育校のスタート、中学校へのコミュニティ・スクールの導入、ICT環境の整備など、学校教育は盛りだくさんの年でもあります。この新型コロナウイルス感染予防対策による学校休業、社会教育施設の休館により我々職員も勉強する時間ができました。これからの5年間の目標期間となる睦沢町教育振興基本計画では、これまでのことを踏まえ、新たな目標として達成に向け鋭意努力してまいります。

説明は以上となりますが、田中町長の教育に対するお考えも踏まえ、これ

までの振り返りと、今後の教育行政の推進について皆様にご協議をいただければと思います。

田中町長 説明が終わりましたので、協議に移りたいと思います。今、課長からあったとおり、私が議員であったときや、町長選挙に臨むにあたって教育部分に訴えさせていただいた私の考えをお話させていただけたらと思います。

常日頃、教育について8年余りの議会活動において教育の族議員のような立ち位置で色々な質問をさせていただきました。今年3月の当初予算の審議で、どうしても承知できなかったのが、子どもたちの環境が更に悪化してしまうような予算編成であって、これでは子どもたちの教育を町が後押しするものではなく、手を引いてしまうように感じました。皆さんもご承知のとおり中学校の年間の修繕費が11万5千円でした。今、睦沢町の教育に携わる方々、議会に携わる方々が、新たな小中一貫校や、中学校の老朽化に伴う新たな学校建設の話題、いつできるか分からない、決まっていない建物の話題があまりにも大きくなり過ぎていて、今、通っている児童生徒に学校施設的环境が悪化しているのを我慢させている状態が続いていると感じました。実際、中学校の生徒たちに臭くてトイレに行きたくない。あのトイレは使いたくないというような話題が広まっているような形です。

この選挙期間中、これから10年後、15年後の睦沢町を背負って立つ今の生徒たちを犠牲にして良いのかと、足元を見て今の生徒たちに限られた予算の中でしっかりと環境を作ってあげるのが私たちの仕事だろうと訴えさせていただいたところです。当時の議会の際に補正で対応すると町部局の説明がありましたが、補正で対応するのは教育にあってはならないと思っていて、まちづくりは人づくりであって、人づくりの根本は教育にあると考えています。教育現場を使えなくなったから直すような予算はないと思いました。その段階で自分の思いをしっかりと伝えて、今回の町長選挙に手を上げ、教育部分に力を入れたいと訴えて今ここにいます。町民の皆さんから色々お話を聞く機会が3か月程ありましたので、聞いている中でやはり教室も然りですが、衛生面のトイレであったり、身だしなみを直すための鏡であったり、廊下が滑りやすかったりとか、青春の1ページに良き思い出が残るはずの学校生活が、臭かったトイレの思い出の方が強くなってしまったら、それは子

どもたちの夢を私たちが潰すことになると感じました。同じような意見も多くいただきましたし、これから構想を立てていく学校施設のあり方、また9年間で一人の校長が良いのか、小学校で一人、中学校で一人が良いのか、その議論はまだまだ皆さんの意見を聞いて最終的な判断をすれば良いと思いますが、何よりも今の子どもたちを犠牲にしてはいけないと思いながらこの役場の庁舎に入ってきました。来週の月曜日には新型コロナウイルス関係予算の第2次交付金の審議がありますが、その中で避難所にもなっている学校施設、また運動公園のトイレ改修を予算化することができました。議会で承認されて正式なものとなりますが、そこには今の学校環境を少しでも良くしようという思いも十分入っていますので、ご承知置きをしていただきたいと思います。

もう一つ、予算に関わることですが、これからの学校の予算編成に関しては、昨日、職員の前でお話をしましたが、例えば今までは中学校の修繕費は予算要求に対して財政班で査定して11万5千円というような予算編成をしていたわけですが、これからは枠組みを作った配分、例えば教育予算は例年100の予算がかかっているのであれば、100を基準にして、その中の配分については教育現場の方々の責任者たちの話を聞いてというような教育課と一緒に配分の割り振りをするようにして、新たな事業がある場合はヒアリングをして、新たな事業があるからプラスαの予算が必要ですよというような、現場に携わっていない人が予算要求に対して予算を切っていくようなあり方は通常じゃないだろうと思ひ、その方向で進めていきたいと思ひます。どのような枠組みができるが分かりませんが、来年度の予算編成は最低でも教育だけは枠組みの予算配分をしたいと思ひているところです。何よりもソフトで地域ナンバー1教育の自治体、学校を目指せると思ひています。1園1小1中の環境の中で、連携は既に取れているので、あとは、この報告にあったものをどのように改善していくかを話し合った中で地域でナンバー1の教育の自治体を作っていきたいと、そのように思ひてこの会議に臨んでいますし、そうなるように皆さんと教育に対しての考え方を共有していけたらと思ひていますので、それを踏まえて活発なご意見を各々いただけましたら大変有意義でありますので、よろしくお願ひいたします。

まとまりませんが、私の教育に対して考えていること、思っていること、また地域の皆さんから聞いたものを代弁したものがありますが、大きな方向性は地域ナンバー1の教育として、今の1園1小1中のソフトで環境を活かした教育、そのようなことを作り込んでいきたいと思い、私から自分の思いをお話しさせていただきましたので委員の皆様方それぞれ、これからフリートーク形式でいきたいと思っておりますので、ご意見をいただけたらと思っております。私も言い足りないところは途中で発言させていただきますので、よろしくお願いいたします。

それではこれから協議に入りたいと思っております。活発なご意見を求めます。よろしくお願いいたします。

佐藤委員 重点施策の1 確かな学力の育成ですが、評価は低めになってはいますが、事務局の説明で、小学校は全国学力学習状況調査の結果が2項目とも全国平均を超えています。これは評価して良いと考えます。そして園小中一貫教育のカリキュラムが去年に作られ、各教科の系統性がよりはっきりして、園小中学校の先生方も今後の指導がより明確になっているものと考えます。今後の指導で子どもたちがそれに応えることを期待できるのではないかと考えます。

田中町長 ありがとうございます。この評価について事務局から何かありますか。

中村課長 全国学力学習状況調査については、委員のお話のとおり国語、算数については上回ることができました。園小中一貫教育のスタートについてはこのカリキュラムは昨年度に現在の睦沢小学校の久我校長を中心として接続の部分や、園小中一貫教育校で共通のテーマを持ってのカリキュラムが作成されたところですが、本来は4月がスタートでしたが、新型コロナウイルスの対応の方が先になってしまい、この辺りが実際どのように学習活動に動きを見せているかは、まだ明確な情報がまだ入っていないところですが、我々事務局も園小中一貫教育校が、近隣市町村にない学校運営の形態ですので、とても大事に考えておりますし、実際に運営するのはこども園、小学校、中学校ですが、是非良い成果を出していただきたいと考えております。

田中町長 私も去年、教育振興会に出させていただき、ワークショップにも参加させていただいた中で、園だけでなく、小学校だけでなく、中学校だけでなく、

0歳から15歳までの教育に携わる人たちが隔たりなくワークショップに参加している姿を見たときに、良い取り組みをしているからこそその連携だと実感できたので、更に強化すべきだと思います。

藤原委員 佐藤委員の続きで、確かな学力の育成のところで、将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合ですが、小学校6年生は全国平均を上回っていますが、中学3年生は若干下回っている。町が掲げている自ら一步をあゆみだす15歳という中で、15歳になったらもっとワクワク、これから何を学んでいこう、何をやっていこうという、中学3年間でもっと培っていけるものがあるんじゃないかと、町長が言われた環境の問題だったり、ソフトの部分だったり、また今回も中学3年生に関しては受験を踏まえたところで色々な大会や検定が延期になっている中で、やはりもっと町の中で皆さんが協力し合えてワクワクするような教育をしていけたらと思います。町長の意見がありましたらお願いします。

田中町長 事務局に確認しますが、将来の夢や目標を持っているの回答のところで、小学生が令和元年は前年よりも下がり、中学生は上がったので15歳の姿の部分で良いか分かりませんが、小学生が下がった理由は分かれますか。

今井教育長 毎年行っている全国学力学習状況調査でアンケートをとっています。この学年が最初は課題があった学年でした。児童と教師の人間関係についてであり、議会でも答弁しましたが、3月には先生と別れたくないと涙を流すことがあったくらいの関係になりました。外から来た先生であり、アンケート調査時期が4月20日頃であったため、この結果は致し方ないかなと思っています。

田中町長 藤原委員からお話があったとおり、私もコロナ禍の中の中学3年生が夢を持ち、胸を張って卒業していくには、例年よりもプラスαのことをしていけないと、心が病むまでいかなくても閉じこもっているところで、飛び出していける、これから何か作っていけないといけない部分があるのかなと実感しています。なおかつ、先程の環境が悪かったりすると、そこが残ってしまっい、これからイベントもなかなかできない、全てが同じ環境なのでほかの中学校の生徒たちもできないのは分かっていますが、何か心に残る部分を模索しないといけないだろうなど、作り込んでいくのが地域だし、教育に携わっ

ている我々だし、来年3月に卒業していく人たちの満足度が上がって数値に表れると良いと、そこの取り組みは急務ですよ。ほかにご意見のある方はいますか。

飯塚委員 これに関連して、重点施策2の英語検定の合格率が下がっています。以前は上がってきて良い結果でしたが、今回下がったのが気になります。

中村課長 申し訳ありませんが、学校より受験者数の報告はありますが、このアンケートの最終的な結果によって何級を取得しているかの報告しか上がってきていない状況であり、なぜ合格率が下がっているかについては、情報を持っていないところです。

飯塚委員 あまりにも低いですよ。

佐藤委員 私もすごく気になります。前年まで合格率は高い。多くの生徒が合格したからの影響なのか。或いは英語検定の関心が薄れてきているのか。英語は高校、大学受験も大変重きを置く方向にありますので、数値が大きく下がった理由は確認しておく必要があると思います。

今井教育長 誤りでないか、一度確認してもらって。

中村課長 正しい数値であるかを、中学校に確認いたします。

田中町長 この数値については、改めて書面報告でよろしいですか。

中村課長 はい。

田中町長 この英語検定の合格者割合は、見て分かる形にして通知することにします。ほかにご意見はありますか。

藤原委員 重点施策14の地域の教育力の向上で、今、住んでいる地域の行事に参加していると答えた子どもたちが増えてきている状況にありますが、コロナ禍で地域の行事が少なかったり、18のボランティアの年間活動人数にもありますが、今の時点でも色々なイベントやスポーツ大会も中止になっている中で、何か子どもたちが参加できる、ボランティアによって進学に加算される活動を考えたり、地域のゴミゼロだったり、大々的にやってみると運動スポーツでも家庭でできることをバックアップしていく必要があるのではと思います。

中村課長 子ども会も残念ながら減少傾向にあり、子ども会を活動している団体であっても、活動している子どもたちも減っていて増えていくような状況になく、

子どもたちが活動する場所も減ってきている。場合によって、やる子はやる、やらない子はやらないとの2極化もあるのではないかと我々も考えております。一つの例として伝統芸能発表会の会議の中で、大上や上市場のお囃子があり、地域の伝統や文化に関すること、子どもたちが参加しやすくなることも考えれば、共通に関わった活動をするのも一つの方法ではないかと。団体の代表の考えもあろうと思いますので行政だけではできませんが、一つの考えとして持って、色々な場所で活動できるような場所を作るのも我々の仕事だと考えております。またスポーツ活動でも、ふれあいスポーツクラブで任意で入っている活動団体でも活動する子どもたちの数も減っているのもあります。子どもたちに活動機会を提供することをこれからは積極的に教育行政としてやらなくてはならないことと考えており、答えにならないと思いますが、そういう場所を多く提供できる機会を今後作っていきたいと考えております。

田中町長 確かに地域が子どもたちを育む環境であり、コロナ禍の中で中々できていないところもあると思いますが、区長会がありますので、区長会の中で子どもたちも参加できるような事業等の発信を是非子どもたちにさせていただきたいと。連携を取りながら、区長会以外でも子どもたちが参加できるような団体があれば、どんどん発信して地域の子も参加できるような環境づくりを町ぐるみで進めていこうという方向で進めていきたいと思っております。是非ともその場で発信をしてもらって、子どもたちが参加できる事業はどんどん地域の子も参加に声掛けをしてもらいたいと。今までもしているとは思いますが、どうでしょうか。

中村総務課長 地域ぐるみで子育てをやっていこうとの方針でもありますので、区長会でお話させていただきたいと思っております。

今井教育長 今までを含めて自分の思いをお話させていただきますと、町長から地域ナンバー1の教育にする、学校にするとのお話があり、地域総ぐるみで作り上げると、学校としたら何ができるか。子どもたちが小学校で使っている言葉は希望の登校、満足の下校です。日々の授業が充実していること、そこにある満足感であったり達成感であったり、その授業構成をする先生方の研修、教師の魅力を持ちながら学ぶ意欲を持たせることが必要だと思っております。あと

はそれを支えるコミュニティ・スクール。地域の皆が家庭から始まりますが、親もそうだし、祖父母もそうだし、それは支える地域があって、その面ではボランティアを募集してもやはり限られているところがあり、まだまだ地域から見れば学校の中は課題はあっても一人ひとりが当事者意識を持っていないのが少し残念だと思っています。今回、各家庭にボランティアの募集を出してポツポツと来ています。本当にありがたいと思います。この積み重ねだと思いますが、この成果ができて変わったのを早いうちに皆さんにお知らせしながら、「私たちは力になれる。」と、「何かできることがある。」と意識を持ってもらうこともこれから大事だと思います。私たちも地域ナンバー1の教育を目指して、何よりもまず子どもたちが日々の生活に満足するように。だからワクワク感やドキドキ感が必要なのかなと。これを町民皆さんがこの気持ちを子どもたちに持たせたいと思えば変わってくるかなと思います。教育委員会事務局としても皆さんと分かるように伝えていければと思っています。今日は本当に良いご意見をありがとうございます。

田中町長 課長から説明があったネグレクトとは何ですか。

中村課長 育児放棄のことです。

今井教育長 関連してケース会議のことを差し支えない範囲で情報提供できますか。

芝崎主査 教育課では福祉課と学校と合同でケース会議を開いております。これは学校で、今のネグレクトや虐待、また不登校等の問題があったときに児童生徒の今後の対応を検討するための会議です。現在はネグレクトまではいきませんが、虐待に近い行為を受けている児童が出たときに様々なケアセンターやNPO法人と連携して解決に向かうようにしています。このような問題はかなり根が深く、困難で一朝一夕で解決できない問題です。ケース会議については、かなりの回数を開いていまして、完全に解決するのは難しいですが、解決に向かいながら町全体で対応していきたいと思っています。

田中町長 先生方とは連携していますか。

芝崎主査 ケース会議には校長、教頭、教務、担任にも出席していただき、連携しています。

田中町長 担任が一番必要だと思います。普段の違いを身近で見られるのは担任だと思います。

いじめの解消についての対応はどうか。

今井教育長 いじめの解消について件数はありますが、年度末までには解消していますので問題はないと思います。

佐藤委員 重点施策1-1の体力の向上と学校体育活動の推進で評価が低めですが、令和2年度についてもコロナ禍で家にいることが多かったりして体力が落ちてきていると思います。小学校ではバス通学も3年目になり歩くことが減り、ただ学校生活だけで体力全般を向上させるのも、なかなか難しいわけですが、一日の生活の中で学校にいる時間も長いので、先程、事務局から体育の時間の中で準備体操で工夫するとの話もありましたが、体育の時間は週3回はとれないのでしょうか、先生が子どもたちに少しでも多く走らせる、動き回らせる工夫、或いはカリキュラムの中の業間の時間とか、昼休みの時間とか、小学生なら外遊びとか、今後一層の工夫をしていかないと益々体力が低下していく心配があると思います。広報8月号にふれあいスポーツクラブの記事があり、こども園の年長を対象に年20回アリーナで運動の機会を取っていて、マットや跳び箱で器械体操のようなものだそうです、すばらしい取り組みだと思います。小学校との接続も良いと思いますし、小さいときから色々なところで子どもたちが体を動かすのは、すばらしい取り組みだと思います。

飯塚委員 佐藤委員からあった、年長の取り組みに私も手伝いをさせていただいています。一昨年からはじめて、体育を専門にやられていた先生が指導して下さり、小学生低学年でできるようになる逆上がりや年長で全員できるようになり、ほかよりもかなりレベルが高いです。ただ、小学校に入ってから活動が少なくなってしまうと非常にもったいないと思います。ですから体育の活動を増やしてもらえたら良いと思います。年長のレベルは全然劣ってなくて、むしろ優れているというお話を聞いています。

田中町長 継続できる環境にないということですね。0歳から15歳が途切れてしまっている。

今井教育長 先程、課長から報告がありましたが、体育の関連団体が一昨年からは会議を持ち、そこに帝京平成大学の教授が来ています。その方とこの2月から研究を始めようと思っていて、計画も作りましたがコロナ禍で止まってしまっていて、

大学の研究団体と協力して肥満と運動量と食事との関係などを明らかにして、一人ひとりの体力目標値を設定して体力向上に努める目標を持っています。私も心配していましたが、佐藤委員も言われたバス通学による体力が落ちることは避けたいと思っていました。学校でも業間の時間等で努力はしましたが、うまくいかなかったのは事実と認めて、もう一度考え直したいと思っています。

藤原委員 やはり体育の授業だけでは足りないのかなと実感としてあります。子ども子育て支援会議等で伺っていると、この町に公園がないというのが大きな問題なのかなと思います。小さなお子さんがいる母親からは公園がほしいという声が何度も上がっています。気軽に遊べて走り回れるところがない。スマートウェルネスタウンにも小さな公園がありますが、住んでいる方は遊んでいる様子があったり、中央団地にも公園があって遊んでいる様子があったり、もっともっと活用できる場所があると良いと思います。先程、課長から話があった2極化がすごくあって、運動する子はする、しない子は全くなくて、今回の休業中もゲーム等、家の中で過ごしている状況なので、やはり動いてもらえるような体制作りが必要なのかなと感じています。

田中町長 今のお話に加えますと、これからG I G Aスクール構想、I C Tが進んでいくときに、最初は子どもたちは興味を持って座ることも多くなり、余計に体力の低下につながる可能性があるので、G I G Aスクール構想と平行して、今、取り組みをしないと更に低下する恐れがあるのかなと思いましたので、カリキュラムの中で体育の授業数は決まっていますが、業間体育等の取り組みであったり、動かす仕組みを作らないと、パソコンに向かう時間が増えると集中してしまうので、余計に体力低下につながる懸念があるので、そこは平行して強化していただけたらと思います。

藤原委員 やはりG I G Aスクール構想が入って一人一台の端末を持つようになり、プログラムの中に運動プログラムなどを入れ、自分で気が付けるように。体力テストを行って健康観察カードがあっても、学校や家庭で児童と確認しなければ自分がどのような状況なのか分からない。小学3年生位になれば自分で気が付いていけるので、まさにプログラムの中に自分が健康チェックできるようなシステムを入れたりとか、町長が言っていたソフトの部分を実践さ

せる中で、そこに予算をかけていかないと。ただ先生が授業をするための端末だけではなくて、そこを自分で管理していけるものに。先生も授業の負担だけではなくて、課題の出題や採点など先生だけで対応できない部分もあり、今後はその部分を補う人件費が必要となる。学校での体育、家庭での縄跳びや習い事の運動などをして何キロカロリー消費したとか、そういうところも併せてやっていけたら良いと思います。担任や学校任せではなくて、どういうシステムを作って取り入れたら良いのかとか、予算を組んでしっかり対応していけたら良いと思います。

田中町長 確かにそれは良いですね。自分も万歩計を持つと何歩歩いたか気にするようになります。

藤原委員 何食べたとか自分でチェックして自分で健康管理ができないと、生涯にわたってなかなか健康管理ができなくなってくる。先程の朝ごはんを食べていない家庭が何パーセントかあったり、授業に集中できない理由が子どもたちに分かれば楽しんでやってくれたりとか、家に帰って縄跳びしてから勉強しようとか、そのようなカリキュラムとかをこの町で作っていければ、一番良いかなと思いました。

田中町長 このソフト等の作り込みは、これから計画を立てるのでしょうか。

中村課長 G I G Aスクール構想の学習ソフトに関しては、まだ先生方と詰めていない状況です。あと長生郡市内で共通の学習ソフトを検討できないかということも今、進めようとしていて、担当者レベルでは話をしています。健康に関することについては、スマホで健康に関するアプリなど市販されているものの活用ができれば、町独自で開発すると相当の経費がかかるかもしれませんので、市販されているものがあってダウンロードができれば、パソコンの活用が自由にできるようになることに時間がかかるかもしれませんが、このようなことができるようになれば良いと思います。

藤原委員 多額の予算を組んで整備しましたで終わりではなく、稼動していかないといけない。どうやって稼働率を上げていくか、これからの子どもたちにはなくてはならないものになってくるので、そこを活用して運動であったり勉強であったり稼働率が上がっていければ一番良いかなと思いました。

田中町長 併せてG I G Aスクール構想が始まるときに家庭のW i - F i環境が整

っていない家庭が30%あるので、平等にスタートできるようにお願いするところです。

藤原委員 Wi-Fiが使えない家庭がある中で、今後また休業があるかもしれない。また別の病気で登校ができなくなったときに、家庭ではできないけど、地域のある一部ではできるような整備体制も今後は考えていく必要があったり、あと学校も分散登校しやすい校内の環境づくり、別々の教室でWi-Fiを使って勉強できる環境であったりというものも整えていく必要があって、予算の方も考えていく必要があると思います。

飯塚委員 健康保険課で考えているフレイル予防の教室のことですが、高齢者、或いは小さいお子さんが来るときに、先程、トイレの改修もありましたが、その施設も良く見ていただいて、使いやすく段差がないとか、送迎も大事ですので、送迎できるかも考えて、行事を組んでいただきたいと思います。

田中町長 まだ、はっきりしていませんが、トイレに関して、潔癖の症状を持っている方もいるので、和式を残す考え方があって、2室以上あるところは和式を1つ残して、バリアフリー化のところは対応できるところは対応していきます。避難所なのに避難したくない年配の方もいて、なぜかという和式しかなくて、トイレが不安なので家に帰りますとの意見が多くありました。学校施設は防災の拠点になる施設でもあるので、そこと抱き合わせてトイレの改修をしたらどうかというところがあって、最終的にバリアフリー化の部分は見ていかないといけないのですが、避難しなければいけない立場にありながら、和式しかないから避難したくないという声がありました。ポータブルでもあれば楽だけどという声もあって、そこまでも整備がいかない。改善センターは多目的トイレが一つだけだからそこに並んでしまう。年配の方は体の事情を持っている方もいますので、心配をかけたくないで帰りますとの声を多く聞いたのが始まりです。ですから学校施設は教育の現場だけでなくコミュニティの場であるし、災害時の避難の拠点になる部分でもあるので、併せて少しずつですが、環境作りの方は進めていきます。

藤原委員 今は色々な災害が起きていて昨年も風水害があり、今朝も地震の緊急速報があったり、色々な災害が起きる中で学校が避難所として使われていく中で、前々から話題になっていたコンクリート寿命について、町長はどのようにお

考えか伺いたいと思います。

田中町長 構造のコア抜きをして、コンクリートの強度がどのくらいなのか検査をしようと言っています。今の中学校は昭和43年建設なので、私と同じ52歳です。一般論として、耐震化を行っているのでコンクリートの建物は60年は大丈夫だろうと、4階や5階建ての建物でも耐震化を行っていれば60年は大丈夫であり、中学校は3階建てなので60年経っても強度はしっかりしているだろうと、ただコア抜きなどの強度検査はしなければいけないだろうと思いますが、60年が目処なのかなと思っています。私が訴えてきた学校建設のあり方については、令和8年度に開発公社の借入金の償還が終わりますので、あと6年後位がスタートなのかなと思っています。6年後だと58年経過なので、まだ2年余裕があるので3階建てで安心も含めて強度は確保できているのかなと。これからの6年間と、遡った5年間位の11年間の人たちを犠牲にしてはいけないから学校環境を綺麗にしましょうというのが、私が考えているスケジュールです。ただその前に色々なことがあると思います。今のGIGAスクール構想で施設をもっと早く改修したほうが子どもたちのために良いのではないかとか、それこそ連携を取った中で、少しでも早いほうが先々の子どもたちに良い未来を作れる環境が良いのではないかとか。それは色々な意見を聞いた中で最終的に決めていきたいのですが、今の段階の予算を見た中で開発公社の償還が終わるのが一つのスタートの時期なのかなと思っていますのが今の考え方です。学校をどこに造ってどこに建てるとかの話は、今は一切なしです。

田中町長 ほかに何かありますでしょうか。

ここまで色々なご意見、また取り組むべく方向性が見えたのかなと思いますので、(1)について、他にご意見がなければ次に進めさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

議題の(2)についてですが、皆様からその他で上程をするような案件はありますでしょうか。

ほかに案件等もないようですので、議事は全て終了ということで、議長の座を降ろさせていただきます。ありがとうございました。事務局に戻します。

岡本主幹 ありがとうございました。これをもちまして令和2年度第1回睦沢町総合

教育会議を閉会いたします。皆様お疲れ様でした。

【 14時44分 閉会 】